



平成 17 年 6 月 7 日

各 位

所在地 東京都港区六本木六丁目 8 番 10 号  
会社名 オリコン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小池 恒  
(コード番号 4800 大証ヘラクレス市場)  
問い合わせ先 執行役員経理本部長 峯岸 幸久  
TEL 03-3405-5252 (代表)

## 平成 18 年 3 月期の業績予想についてのお知らせ

当社は、これまで当社グループの関連する業界の環境および当社グループの事業特性から四半期毎に業績を開示することを完遂し、業績予想を開示いたしておりませんでした。当社グループによる事業の展開および動向をより明確に示すため、今期より連結業績予想を開示することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 18 年 3 月期通期連結業績の予想数値

	平成 18 年 3 月期 (予想)	対前年同期比	平成 17 年 3 月期 (参考)
売上高	7,100 百万円	120.9%	5,873 百万円
経常利益	700 百万円	530.5%	131 百万円
当期純利益	415 百万円	1305.3%	31 百万円

#### 2. 業績予想の基となる事象

当社はインターネットメディア事業を積極的に展開しておりますが、その中核には音楽配信プロジェクトがあります。本年 3 月より本格的に開始した音楽配信については後述いたしますが、現状、当初の予測を下回る出だしとなっています。上記の予想数値は音楽配信ビジネスが現状のまま推移したと仮定したものであり、今後の音楽配信ビジネスの展開次第で更なる上積みは可能です。

前期 (平成 17 年 3 月期) と比較した場合、今期は大幅に収益が改善する見込みですが、主なポイントは以下の 3 点です。

音楽配信ビジネスに関する初期投資の完了

「ORICON STYLE」サイトの広告収入の増加 (当期 4 月と 5 月の合計額は前年同期比 220%)  
~ 音楽配信スタート後、約 50% の来訪者増。現在、月次で 160 万人のユニークユーザー、3,500 万ページビューとなり、国内屈指のエンタテインメント系サイトとなった効果。

最近の M&A により当社子会社となった会社の利益貢献

・ シネウェルカム社 (韓国)

~ 韓国最大手の映像配信(VOD)サービス事業者として、映画のみならず今期よりスポー

ツ映像の配信を開始させるなど、着実に業績が伸びている。今期より当社連結損益に加わる。

・ フランクリン・ミント社

～今期 5 月より当社の連結対象子会社となり、今期下半期より本来の収益力を回復する見込み。当社サイトの来訪者に対する E コマースを展開していくことで、更なる増収が期待できる。

### 3. 音楽配信についての現状と今期の事業展開

現在、楽曲ダウンロードは月間 3 万 5 千~4 万のペースで推移しており、当初の予想を下回っております。また、配信可能楽曲も現状 10 万 5 千曲と当初予定より少なく、かつ「オリコンランキング」に連動してダウンロードするというコンセプトも充分に実現するには至っておりません。

原因としては、

最大手のレコードレーベルと契約が未締結である。

レコードレーベルとプロダクションとの交渉に時間がかかっている。

旧譜については権利帰属者の特定が困難な場合が多く、その処理に時間がかかっている。

レコードレーベルのシステムに障害が発生し、配信できない状態になっている楽曲がある（1 ヶ月以内に配信可能になります）。

等があります。

また、当社サイトのユーザーに対して調査（1,000 名へのアンケート、複数回答）を行ったところ、「楽曲の値段が高い（現在 1 曲平均 210 円）」：82.7%

「デジタルポータブルプレーヤーを持っていないか、持っても形式が対応していない」：62.3%

「ダウンロードのやり方、デジタルポータブルプレーヤーへの転送のやり方がわからない」：60.6%

等が音楽ダウンロードを行わない理由としてあげられました。

以上の状況を鑑み、まず当社では対応するデジタルポータブルプレーヤーを増やすべく、先般、ソニー（株）と音声圧縮技術 ATRAC 3 plus 形式を導入する基本契約を締結しました。技術的な検証期間を経て、本年 9 月より対応可能となります。当社は、既に Windows Media Audio(WMA)形式を採用しており、今回の技術導入でユーザーが所有するデジタルポータブルプレーヤーの形式に応じて、ATRAC 3 plus 形式か WMA 形式かを選択できるようになります。なお、国内外の音楽配信サイト（レコードレーベルが独自に運営するサイトを除く）において、上記 2 種の音声圧縮形式を同時に採用し、楽曲ダウンロード時に形式を選択できるサイトは、当社音楽配信サービスが初めてになります。また、先般、ソニー（株）よりネットワークウォークマンに新機種が投入され、ATRAC 3 plus 形式の製品のシェアが急速に拡大しており、ATRAC 3 plus 形式への対応開始後、当社音楽配信サービスのユーザー数およびダウンロード数の増加が予想されます。

また、本日の一部報道で、アップル社が日本国内で音楽配信サービスを開始する旨の報道がありましたが、このサービスにはアップル社の音声圧縮技術（AAC）が採用され、アップル社の製品にのみ対応可能になると思われます。従って、ATRAC 3 plus 形式と WMA 形式の両方を採用する当社の音楽配信サービスのユーザーと、アップル社の音楽配信サービスを利用するユーザーとが重複することはなく、国内の音楽配信マーケットにて住み分かれていく可能性が非常に高いと思われます。新たな音楽配信サービスの開始により、レコードレーベルとプロダクション間の交渉が進むことが予想され、

コンシューマーの中にも音楽配信が文化的に根付いていく機運の高まりが生まれることを期待しております。

また、国内の音楽配信においては業務委託によって配信されるケースが多く、価格設定権は最終的にレコードレーベルにあります。当該事情から価格変動が起きるタイミングは全ての音楽配信サイトにおいて同時である可能性が極めて高いと考えております。

今期、音楽配信ビジネスを拡充させるべく、以下の点に特に注力して参ります。

配信可能曲数の増加を図る。

レコードレーベルと協力してプロダクションへの交渉および旧譜の権利処理を進め、配信可能楽曲を拡充させます。現在、(社)日本レコード協会加盟正会員社 18社を中心に計 50社と配信契約を結んでいます。数ヶ月以内にさらに数社と配信契約を結ぶよう努力し、ほとんど全てのユーザーに訴求できる楽曲ラインナップにいたします。

また、音楽のプロモーションビデオの有料配信もレコードレーベルと協議し、開始できるようにします。

ダウンロード手順の分かりやすさを図る。

ユーザーインターフェースを工夫するとともに、ハードメーカーの音源管理ソフトウェアとの連動を図ります。ダウンロードならびにポータブルプレイヤーへの転送方法を分かりやすく、簡便に伝えるよう、ダウンロードページの表記を利便性の高いものにブラッシュアップさせます。

以上の施策を踏まえ、上記業績予想数値に更なる上積みができるよう、最善の努力をいたします。

以上